

地域子育て環境充実度を「見える化」するためのツール開発業務委託に係る企画提案書作成要領

本要領は、「地域子育て環境充実度を「見える化」するためのツール開発業務委託公募型プロポーザル募集要領」に記載された、企画提案書の作成要領を記述したものである。

1 企画提案書の作成方法

- (1) 「地域子育て環境充実度を「見える化」するためのツール開発業務委託仕様書」(以下「仕様書」という。)に基づき、「2 企画提案書の記載内容」に掲げる事項を漏れなく記載し、「提出書類一覧」に掲げる書類とともに提出すること。
- (2) 企画提案書の様式は自由とするが、次の(3)から(8)に留意すること。
- (3) 用紙の大きさはA4版、横書きとすること。ただし、図表等については、必要に応じてA3サイズで折り込みも可とする。
- (4) 文章を補完するための写真、イラストなどの使用は可とする。
- (5) 作成にあたっては、印字でも手書きでも構わない。
- (6) 企画提案書は、専門知識を有しない者でも理解できるわかりやすい表現とすること。
- (7) 企画提案の内容については、他からの無断転用を禁止する。
- (8) 委託業務に関する全ての著作権等は京都府に帰属する。

2 企画提案書の記載内容

企画提案書は、仕様書の内容を踏まえた上で、以下の項目を記述すること。

(1) 委託業務内容の実施方法

- ① 評価要素に係る各種市町村データの収集
 - ア 市町村データの収集手法
 - イ 府内市町村で統一的に入手できない評価要素があった場合に代わりとなる評価要素の選定手法
- ② 評価要素・評価分野と合計特殊出生率との因果関係の検証及び地域指標・評価分野のスコア化
 - ア 合計特殊出生率との因果関係の検証手法
 - イ アで因果関係が見られなかった場合の対策
 - ウ 地域指標及び評価要素のスコア化の手法
- ③ モデル市町村におけるツールを活用した実地検証
 - ア モデル市町村において子育て支援策や少子化対策に係る新たな施策が生み出されるための実地検証手法
 - イ 府内の全市町村でツールを有効かつ効果的に活用できる手法を生み出すための実地検証手法

- ④市町村ごとの子育て環境充実度を分かりやすく「見える化」するツールの作成
 - ア 地域の関係者（市町村、広域振興局、地域団体、企業等）が目指すべき姿を共有できるものとなるような表現方法及びデザインの作成方針
 - イ 当該ツールの活用が持続可能なものとなるよう、京都府や市町村が自らデータを更新し改善状況を点検できるようなツールの作成手法や仕組み
- ⑤有識者及び市町村等との意見交換等の実施
 - ア 有識者等の選定の考え方並びに予定している有識者等の実績及び当該有識者等と業務を行った実績等

（２）総括責任者及び業務担当者

当該委託業務を実際に担当する者の氏名、役職、経験年数、主な実績等を記載すること。提出後に当該業務を担当できなくなった場合には、失格となることがあるので、確実に担当できる者を選定すること。

（３）本業務に対する提案者の認識等

- ア 基本的な考え方
本委託業務に係るコンセプト（仕様書記載の事業の目的）の具体化の内容、注目すべきポイント、仕様書以外の独自の工夫やサービスについて記載すること。
- イ 業務実施体制の構成
本業務を実施する執行体制やその体制の特徴等を記載すること。

３ 企画提案書等の提出

- （１）提出書類・提出部数
別紙「提出書類一覧」のとおり
- （２）提出場所
京都府健康福祉部こども・青少年総合対策室
- （３）提出期限
令和２年８月１７日（月）午後５時
※提出期限後に到着した応募書類は無効とする。
- （４）提出方法
持参（平日の午前９時～午後５時まで）又は郵送（書留郵便に限る。）
※電子メールによる提出は認めない。
- （５）その他
要求した内容以外の書類、図面等については受理しない。
また、提出された企画提案書、関連書類等は返却しない。